

地域の子供を 地域らしい活動をとおして 地域の人で育てる

鹿児島県南九州市

活動名

清水地域子ども教室

関係する学校

南九州市立清水小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
		1人	17人	16年度	有
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無	
	1人	7.2人	155日	有	
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	せせらぎ館(校区公民館)			16年度	無
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

- ・土曜日の活動は、平成16年度からスタート。当時のPTA会長と学校長が、週休二日制で学校が休みとなった子供たちに、人や自然と関わりながら遊ぶ楽しさを感じてほしいということで、学校独自の活動として始まった。当初、運営はPTA役員が中心となっていたが、後に校区公民館で運営するようになった。
- ・平成25年度は平日155回、土曜日8回の実施。参加者延べ人数1,232人。
- ・平日の開催日数が多く、学習活動や読書活動、体力作りを行っている。
- ・週末(土曜日)は、地域における体験活動が中心となる。
- ・子供たちの参加については、学校を通じて、全児童に案内を配布し、参加者を募っている。活動内容によっては、地域の全家庭に案内を配布し、集落の放送を通じて、参加を呼びかけている。
- ・親子での参加も多く、地域の子供は地域ぐるみで育てようという意識が校区に定着している。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- ・地域の方々と連携した田植え、標語ポール製作活動、ドングリの森清掃・竹とんぼ作り、火おこし・ピザ作り、ミニ門松作成活動、絵画教室、ニュースポーツ等、多様な体験活動に取り組んでいる。
- ・指導者は全員が地域のよき人材であり、そのことも清水の良さ再発見につながっている。
- ・週末の活動では、それぞれの活動内容に応じて担当者が責任を持って計画的な指導ができるように、校区公民館の組織である青少年育成部会が中心となって運営を行っている。活動については、部会での決定を基にコーディネーターが計画立案・講師との交渉等を行い、当日の運営は部長が主に行い、安全面を他の部員が行うなど、地域一体となった組織的活動になっている。

【実施に当たっての工夫】

- ・活動内容によって、地域ぐるみで関係機関や団体が分担し、青少年の健全育成を行っており、地域の子供は地域で育てるという考え方が地域に根付いている。
- ・どの活動も、清水地区の文化や伝統を生かしたものとなるように、校区の歴史に関する史跡巡りや校区内の公園の木々・木の実を使った工作などを設定し、清水地区の良さを生かした活動になるようにしている。
- ・校区公民館や青少年育成校区民会議等の地域の方が出席する会合で協力を呼びかけ、地域の理解や協力を得ながら活動を行っている。



地域・保護者・子供での田植え

● 事業を実施して

- ・地域塾と同好会の活動を合同で行い、保護者の参加が多く、これまでに無い活動ができた。
- ・地域の指導者や地域の支援者の指導・手伝いを受けることで、子供たちが地域の方との心の距離を縮め、挨拶や会話が増えてきた。
- ・地域の子供を地域で育てると意識が高まり、「手伝いたいので、案内を届けてください。」という地域の方の数が増えた。
- ・講師の方の下準備がよく、手軽に作成できた。



地域・保護者・子供でのピザづくり

● その他

- ・放課後や土曜日の様々な活動をとおして、子供たちの居場所づくりを確保している。
- ・講師も活動内容も基本的に地域や地域素材を活用している。講師は、少しずつ入れ替わることで活動が活性化されている。